

# Contents

## PALSプロバイダーマニュアル

<b>Chapter 1</b> <b>小児の評価</b>	<b>1</b>
概説	1
小児評価のためのアプローチ	4
初期評価	6
一次評価	7
生命を脅かす状態	25
二次評価	25
三次評価	26
呼吸障害の評価	26
循環障害の評価	29
References	32
<b>Chapter 2</b> <b>呼吸窮迫および呼吸不全の認識</b>	<b>33</b>
概説	33
呼吸障害における酸素化と換気の障害	34
呼吸障害における呼吸の生理学	37
重症度による呼吸障害の分類	40
タイプによる呼吸障害の分類	41
References	43
<b>Chapter 3</b> <b>呼吸窮迫および呼吸不全の管理</b>	<b>45</b>
概説	45
呼吸窮迫および呼吸不全の初期管理	46
上気道閉塞の管理	47

上気道閉塞の原因別の特異的な管理の推奨事項	48
下気道閉塞の管理	50
下気道閉塞の原因別の特異的な管理の推奨事項	51
肺組織病変の管理	53
肺組織病変の原因別の特異的な管理の推奨事項	54
呼吸調節障害の管理	57
References	58

## Chapter 4

### ショックの認識

61

---

概説	61
ショックの生理学	64
重症度によるショックの分類 (血圧への影響)	66
タイプによるショックの分類	68
循環血液量減少性ショック	69
血液分布異常性ショック	70
敗血症性ショック	72
アナフィラキシーショック	75
神経原性ショック	75
心原性ショック	76
閉塞性ショック	78
References	80

## Chapter 5

### ショックの管理

81

---

概説	81
ショックの管理の目標	81
ショックの管理の基本	82
ショックの一般的な管理	85
ショックの高度な管理	91
輸液療法	92
血糖	96
ショックのタイプによる管理	97

循環血液量減少性ショックの管理	97
血液分布異常性ショックの管理	101
敗血症性ショックの管理	102
アナフィラキシーショックの管理	106
神経原性ショックの管理	107
心原性ショックの管理	107
閉塞性ショックの管理	109
References	111

## Chapter 6

### 徐脈性不整脈および頻脈性不整脈の認識と管理

115

概説	115
徐脈性不整脈	116
徐脈性不整脈の認識	117
徐脈性不整脈の管理：小児の脈拍のある徐脈アルゴリズム	122
頻脈性不整脈	126
洞性頻脈	127
上室頻拍	128
洞性頻脈と上室頻拍の比較	131
心房粗動	132
心室頻拍	132
頻脈性不整脈の管理	134
緊急介入	135
薬物療法	137
まとめ	140
小児の脈拍があり循環が良好な頻拍アルゴリズム	141
小児の脈拍はあるが循環不良な頻拍アルゴリズム	144
References	147

## Chapter 7

### 心停止の認識と管理

153

概説	153
心停止の病態	154

心停止の原因	155
心停止の認識	157
心停止の管理	160
BLS	161
心停止時の PALS	163
小児の無脈性心停止アルゴリズム	167
小児の心停止：特殊な状況	178
蘇生における社会的問題と倫理的な問題	182
心停止後の予後の予測	183
References	184

## Chapter 8

### 蘇生後の管理

191

---

概説	191
蘇生後の管理	192
呼吸器系	193
心血管系	196
PALS ショック蘇生後治療のアルゴリズム	199
維持輸液の投与	203
神経系	204
腎系	206
消化器系	208
血液系	209
蘇生後の搬送	210
搬送手段と搬送チームの構成	214
まとめ：搬送チェックリスト	216
References	217

## Chapter 9

### 薬理

221

---

概説	221
アデノシン	222
アルブミン	223

サルブタモール	224
アルプロスタジル (PGE <sub>1</sub> )	225
アミオダロン	226
アトロピン	228
塩化カルシウム	229
デキサメタゾン	230
ブドウ糖	232
ジフェンヒドラミン	232
ドブタミン	233
ドパミン	234
アドレナリン	236
フロセミド	238
ヒドロコルチゾン	239
イナムリノン	240
臭化イプラトロピウム	241
リドカイン	242
硫酸マグネシウム	244
メチルプレドニゾロン	245
ミルリノン	246
ナロキソン	247
ニトログリセリン	248
ノルアドレナリン	249
酸素	250
プロカインアミド	251
炭酸水素ナトリウム	252
ニトロプルシドナトリウム	253
テルブタリン	255

## PALS コースガイド

<b>Part 1</b>		
<b>コース概要</b>		<b>259</b>
	コースの目的	259
	コースの説明	260
	コース用教材	261
	受講前, 受講条件, および準備	264
<b>Part 2</b>		
<b>CPR/AED 習熟度テスト</b>		<b>267</b>
	テストの合格条件と準備	267
	CPR 受講者実習シート	267
	補習	271
	BLS のまとめ	272
	ヘルスケアプロバイダー向けの PBLIS アルゴリズム	273
	PALS CPR テストチェックリスト	273
<b>Part 3</b>		
<b>スキルステーション</b>		<b>277</b>
	概説	277
	呼吸器系緊急事態の管理のスキルステーション	277
	心リズム障害/電氣的治療のスキルステーション	278
	血管確保のスキルステーション	278
	スキルステーション習熟度チェックリスト	279
<b>Part 4</b>		
<b>小児の評価</b>		<b>283</b>
	小児評価のための体系的アプローチ	283
	評価, 分類, 判断, 行動	285
	小児評価フローチャート	286
	生命を脅かす状態	288
<b>Part 5</b>		
<b>蘇生チームの概念</b>		<b>289</b>
	効果的なチームダイナミクス	289
	チームでの役割のまとめ	290

<b>Part 6</b>		
<b>心停止</b>		<b>293</b>
	心停止の認識	293
	質の高い BLS の重要性	294
	心電図記録：心停止リズム	295
	PALS 無脈性心停止アルゴリズム	296
	心停止の治療手順	298
	身長に基づいたカラーコード化蘇生テープ	299
	心停止で使用する薬物	299
	心臓実技ステーション習熟度チェックリスト 1, 2	300
<b>Part 7</b>		
<b>徐脈性不整脈および頻脈性不整脈</b>		<b>303</b>
	不整脈の分類	303
	徐脈性不整脈	303
	頻脈性不整脈	304
	心電図記録：徐脈性不整脈および頻脈性不整脈	305
	徐脈性不整脈	305
	QRS 幅の狭い頻脈性不整脈	305
	QRS 幅の広い頻脈性不整脈	306
	PALS 脈拍のある徐脈アルゴリズム	306
	PALS 脈拍はあるが循環不良な頻拍アルゴリズム	308
	徐脈性不整脈および頻脈性不整脈に対する薬物	308
	心臓実技ステーション習熟度チェックリスト 3, 4	310
<b>Part 8</b>		
<b>呼吸器系緊急事態</b>		<b>313</b>
	重症度による呼吸障害の分類	313
	タイプによる呼吸障害の分類	313
	呼吸障害評価における小児評価のアプローチの使用	314
	初期評価	314
	一次評価	315
	呼吸障害認識フローチャート	318
	呼吸管理の基本	320
	呼吸実技ステーション習熟度チェックリスト 1～4	321

<b>Part 9</b>		
<b>ショック</b>		<b>327</b>
	重症度によるショックの分類	327
	タイプによるショックの分類	328
	ショックの評価における小児評価のアプローチの使用	328
	初期評価	328
	一次評価	329
	ショック認識フローチャート	332
	ショック管理の基本	333
	輸液療法および血糖値についてのガイドライン	334
	PALS 敗血症性ショックアルゴリズム	335
	ショックの管理に使用する薬物	336
	ショック実技ステーション習熟度チェックリスト 1~4	337
<b>Part 10</b>		
<b>薬理</b>		<b>341</b>
<b>Index</b>		<b>345</b>